

聖ヨハネ学園

後援会 だより

45



早く自由に外出できますように
地域生活支援センター光

発行：聖ヨハネ学園後援会
〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1
TEL&FAX 072-687-0548

理事長就任挨拶



理事長
田尻忠邦

2021年6月より理事長に就任しました田尻忠邦です。後援会の会員のみなさまには、平素より聖ヨハネ学園の事業にご理解とご支援を賜っております事、心よりお礼を申し上げます。

特に、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大の中にあつて、感染予防に細心の注意を払って日々の業務に従事していたすべての職員に対して慰労金を頂戴し、ありがとうございました。日々、不安と緊張の中で仕事をしていた職員にとって、物心両面で支えていただいている後援会のみなさまの存在にどれだけ励まされたことでしょうか。9月末をもって、第4回目の緊急事態宣言は解除されましたが、これから冬に向けてインフルエンザの流行と新型コロナウイルス第6波が懸念されています。引き続き、聖ヨハネ学

園の7施設が、一丸となって感染予防に取り組んで参りますので、職員の健康が守られますように日々の祈りに加えていただければありがたいです。

2年近くに及ぶ新型コロナウイルス禍にあつて、各施設の様々な行事が、規模縮小または、中止を余儀なくされてきました。このため、後援会の会員のみなさまをはじめとして、地域のボランティアのみなさまとの交流の機会が無くなり、各施設が地域貢献の一環として実施して参りました講演会、相談会などのプログラムも中止せざるを得ませんでした。まだまだ収束の兆しが見えない状態ではありますが、ポストコロナ期におきましては、2年間の空白を埋めるべく、様々な交流、地域貢献プログラムを展開してまいりますので、後援会のみなさまにおかれましては積極的な参加とお手伝いをお願いしたいと存じます。

現在、聖ヨハネ学園の7施設における事業内容の理解を深めるため、各施設を見学し、施設長あるいは、主任から説明を受けています。文字通り「百聞は一見に如かず」で、各施設がどのような事業をしているのかが良く分かりました。近い将来、後援会のみなさまを対象にした施設見学ツアーも実現したいと考えています。また、各施設長との面談の中で、聖ヨハネ学園は、高槻市にある多くの社会福祉法人のなかでも、最も長い歴史と伝統があるので行政の信頼も厚く、地域の評価も高いと耳にします。けれども理事長に就任して半年ほどしか経っていませんが、その事が実感として伝わってきました。その原因の一つとして聖ヨハネ学園のブランド発信力の弱さがあると思います。これを解決すべく広報活動に力を入れていきたいです。また、対外的な広報活動だけでなく、対内的にも全職員が、聖ヨハネ学園の歴史と伝統にプライドを持って日々の業務に従事してもらえそうな仕組みを考えたいと思います。

後援会のみなさまにおかれましても良いアイデアがございましたら、ご提案いただき、聖ヨハネ学園のさらなる発展のため、ご協力いただけましたら幸いです。

この花療育園

ジムウォール （ろくばく 肋木とクライミング遊具） ありがとうございました

当園には、「登る」ことが大好きな子ども達が多くいます。「高い場所の感覚が心地よい」「高い所から全体を眺めたい」という高さを求める理由や、「手足を交互に動かしてよじ登る動きができるようになって楽しい」等の理由からです。

当園の子ども達の弱さがある体幹を保持する筋力をつける為にも、登る遊具を取り入れたいところですが、登ることができる高さのある遊具は、安定感を保つことが難しく危険を伴う等の課題があり、常設できないという難点がありました。更に遊戯室には、大



ジムウォールで遊ぶ子ども達

人が登ってほしくない柵やピアノがあり、その上に登る子どもが多く、「危ないから」と止めること中心の関わりとなっていて、登ることを楽しめる遊具の設置は、長年の課題でした。

安全かつ耐久性もあり、行事を行なう遊戯室で取り外しも可能という難題をクリアできる遊具を探していたところ、『ジムウォール』という

遊具を見つけ、この度設置の運びとなりました。

今年の3月、遊戯室の壁に肋木が設置され、7月末、肋木に引掛けるクライミング遊具が登場しました。肋木は常設ですが、クライミング遊具は付け外しができ、遊戯室での行事等の際には取り外して、壁に暗幕を吊るすと隠すこともできます。

しっかりと自分の手と足でよじ登り、高い位置から室内を見渡した子ども達は気分爽快な様子です。また、安全で登りやすい構造により、今まで登ろうとしなかった子どもがチャレンジする姿も見られ、多くの子ども達から愛される遊具となっています。

うの花療育園は、来年度、開園から二十周年を迎えます。子ども達のニーズを最優先に、かつ安全で安心できる環境を整えながら、これからも丁寧な療育を行なっていきたいと思えます。

* * *

後援会の皆様には、今回の設置の為に、当園の見学に何度も足をお運びいただきました。その際、現場の職員の声を聞いてくださる機会も作っていたいただきました。本当にありがとうございました。

2021年度4月～9月

後援会寄付金

2021年度上半期(4月1日～9月30日)に59名の方々からご協力をいただきました。ありがとうございます。

| | |
|--------|----------|
| 後援会会費 | ¥212,000 |
| 後援会寄付金 | ¥52,425 |
| 合計 | ¥264,425 |

| 施設名 | 件数 | 金額 |
|-------------|----|------------|
| 聖ヨハネ学園 | 20 | 255,450円 |
| ミス・ブール記念ホーム | 15 | 182,225円 |
| 地域生活支援センター光 | 11 | 213,225円 |
| 下田部保育園 | 3 | 20,225円 |
| 聖ヨハネ子どもセンター | 3 | 110,225円 |
| 本部 | 17 | 403,225円 |
| 合計 | 69 | 1,184,575円 |

後援会《入会要項》

- 年間会費**
 - 1) 個人会費 1口 2,000円
 - 2) 団体・法人会員 1口 10,000円

いずれも、何口でもよろしくお願ひします。
- 入会方法**

振り替え用紙でご送金いただくだけでも会員登録させていただきます。

郵便振替口座=00910-5-5789
加入者名=(社福)聖ヨハネ学園
- 寄付控除**

ご寄付は次の法律により税法上の優遇措置が受けられます。

所得税法第78条第2項第3号該当
法人税法第37条第3項及び第4項第3号該当



聖ヨハネ学園土曜会奨学金制度とは……

1963年立教大学BSA(聖アン・テレ同胞会)第2支部の皆様が土曜会という活動を通して高校進学、特に私学に進学する際の授業料負担に対して奨学金を継続してご支援いただいております。2010年に土曜会の活動を発展的に解消され、その際、学園に対して500万円を寄付していただきました。

みなさまのご意志を「土曜会奨学金」として学園の子どもたちの進学奨励金制度として発足しました。学園後援会からも賛同を得て、2012年度から年間30万円を基金に拠出していただいております。ここに寄附いただきましたみなさまに感謝とお礼を申し上げます。今後子どもたちへのご支援をよろしくお願ひいたします。

「後援会だより」④5

- 発行 社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会
- 電話・ファックス (072) 六八七〇五四八